

# 行動指標、状態指標の見直しについて(案)

広島湾第1回中間評価を実施した結果、目標達成状況を評価する行動指標、状態指標の一部については、見直しを行う必要があると考えられた。以下に、中間評価結果を踏まえた行動指標、状態指標の見直し(案)とその理由について示した。

## 【現行】

### 【行動指標】

目 標	行 動 指 標	目 安
目標1: 森・川・海の健やかな繋がりを活かし、豊かな広島湾を保全・再生する。	(1)水環境の再生 汚水処理人口普及率	約7%向上
	合流式下水道の改善	8地区改善
	下水道高度処理人口普及率	約13%向上
	底質の改善 ※海田湾(アピールエリア)	パイロット事業の実施
	(2)生物生息・生産の場の保全・再生 干潟・藻場等の浅場の保全・再生面積	約90ha保全・再生
目標2: 人と海との繋がりを取り戻し、親しみやすい広島湾を再生する。	生物の生息に配慮した環境配慮型構造物の延長	1,200m
	野鳥園・緑地の整備箇所数	3箇所
	海洋性レクリエーション拠点の整備	1箇所
	新たに水辺に触れ合うことが出来る海岸線延長	1,200m
	地域住民との協働による護岸整備 ※海田湾(アピールエリア)	海田湾での護岸整備の実施
	眺望点の整備、修復箇所数	2箇所
目標3: 宮島などの魅力ある自然景観、歴史・文化を活かし、美しい広島湾を保全する。	環境教育・普及啓発活動	現状以上
	住民参加による、自然景観、歴史・文化的資源の保全に関する取り組みの実施	現状以上

### 【状態指標】

目 標	状 態 指 標
目標1: 森・川・海の健やかな繋がりを活かし、豊かな広島湾を保全・再生する。	(1)水環境の再生 赤潮の発生状況
	底層DO
	形態別の栄養塩類
	かき収穫量
	<b>森林の保全・整備状況</b>
目標2: 人と海との繋がりを取り戻し、親しみやすい広島湾を再生する。	(2)生物生息・生産の場の保全・再生 浅場等に生息する生物の種類数、個体数
	<b>透明度</b>
	代表的な親水施設の利用状況
	広島湾の保全・再生に関するシンポジウム、フォーラム等への参加人数
	<b>市民連携による清掃活動等の参加人数</b>
	森林ボランティア等の参加状況
	海洋レジャー客数の延べ人数
	広島湾の保全・再生に関する住民等の意識
	広島湾及びその流域の環境情報に関するホームページへのアクセス数
	自然景観、歴史・文化的資源の保全状況
観光地(自然景観、歴史・文化的資源)への年間入込客数	
目標3: 宮島などの魅力ある自然景観、歴史・文化を活かし、美しい広島湾を保全する。	自然景観、歴史・文化的資源の保全状況

## 【見直し(案)】

### 【行動指標】

目 標	行 動 指 標	目 安	見直しを行う理由
目標1: 森・川・海の健やかな繋がりを活かし、豊かな広島湾を保全・再生する。	(1)水環境の再生 汚水処理人口普及率	約7%向上	—
	合流式下水道の改善	8地区改善	—
	下水道高度処理人口普及率	約13%向上	—
	底質の改善 ※海田湾(アピールエリア)	パイロット事業の実施	—
	<b>森林の保全・整備状況 (目標1の状態指標から移動)</b>	<b>約14,000ha</b>	<b>「森林の保全・整備状況」は、施策の実施量を表しているため、状態指標ではなく行動指標による評価を行うことが適切である。</b>
目標2: 人と海との繋がりを取り戻し、親しみやすい広島湾を再生する。	(2)生物生息・生産の場の保全・再生 干潟・藻場等の浅場の保全・再生面積	約90ha保全・再生	—
	生物の生息に配慮した環境配慮型構造物の延長	1,200m	—
	野鳥園・緑地の整備箇所数	3箇所	—
	海洋性レクリエーション拠点の整備	1箇所	—
	新たに水辺に触れ合うことが出来る海岸線延長	1,200m	—
	地域住民との協働による護岸整備 ※海田湾(アピールエリア)	海田湾での護岸整備の実施	—
目標3: 宮島などの魅力ある自然景観、歴史・文化を活かし、美しい広島湾を保全する。	眺望点の整備、修復箇所数	2箇所	—
	環境教育・普及啓発活動	現状以上	—
	住民参加による、自然景観、歴史・文化的資源の保全に関する取り組みの実施	現状以上	—
	<b>市民連携による清掃活動等の参加人数 (目標2の状態指標から移動)</b>	<b>現状以上</b>	市民連携による清掃活動等が増加することで、自然景観、歴史・文化が保全されるので、目標3の行動指標として評価を行うことが適切である。(現行では、目標2の行動指標を達成しても、市民連携による清掃活動等の参加人数の増加に繋がらない)

### 【状態指標】

目 標	状 態 指 標	見直しを行う理由
目標1: 森・川・海の健やかな繋がりを活かし、豊かな広島湾を保全・再生する。	(1)水環境の再生 赤潮の発生状況	—
	底層DO	—
	<b>透明度 (目標2の状態指標から移動)</b>	陸域負荷削減対策(下水道整備など)や水質改善対策を実施することで透明度は改善するので、目標1の状態指標として評価を行うことが適切である。(現行では、目標2の行動指標を達成しても透明度の改善に繋がらない)
	形態別の栄養塩類	—
	かき収穫量	—
目標2: 人と海との繋がりを取り戻し、親しみやすい広島湾を再生する。	(2)生物生息・生産の場の保全・再生 浅場等に生息する生物の種類数、個体数	—
	代表的な親水施設の利用状況	—
	広島湾の保全・再生に関するシンポジウム、フォーラム等への参加人数	—
	森林ボランティア等の参加状況	—
	海洋レジャー客数の延べ人数	—
	広島湾の保全・再生に関する住民等の意識	—
目標3: 宮島などの魅力ある自然景観、歴史・文化を活かし、美しい広島湾を保全する。	広島湾及びその流域の環境情報に関するホームページへのアクセス数	—
	自然景観、歴史・文化的資源の保全状況	—
	観光地(自然景観、歴史・文化的資源)への年間入込客数	—

「広島湾再生行動計画」の記載の見直し(案)

【現行(広島湾再生行動計画 27ページ)】

表-3.1 目標達成状況を評価するための指標

■ …見直しの対象とする指標

目 標	指 標【目 安】	行 動 指 標	状 態 指 標	備 考
森・川・海の健やかな繋がりを活かし、豊かな広島湾を保全・再生する	(1)水環境の再生	汚水処理人口普及率【約7%向上】	○	注1)
		合流式下水道の改善【8地区改善】	○	
		下水道高度処理人口普及率【約13%向上】	○	
		底質の改善【海田湾(アピールエリア)】	○	パイロット事業の実施
		森林の保全・整備状況	○	手入れの不十分な森林に対する間伐等の実施状況を監視
		赤潮の発生状況	○	赤潮発生件数、面積、被害状況などを監視
		底層DO	○	貧酸素水塊の発生状況を監視
		形態別の栄養塩類	○	広島湾内の物質循環を把握するために必要な無機態、有機態の栄養塩類の状況を監視
		かき収穫量	○	広島湾の水質に関わりがあると考えられるかき養殖の状況を監視
		(2)生物生息・生産の場の保全・再生	干潟・藻場等の浅場の保全・再生面積【約90ha 保全・再生】	○
		生物の生息に配慮した環境配慮型構造物の延長【1,200m】	○	
		浅場等に生息する生物の種類数、個体数	○	
人と海との繋がりを取り戻し、親しみやすい広島湾を再生する。		野鳥園・緑地の整備箇所数【3箇所】	○	
		海洋性レクリエーション拠点の整備【1箇所】	○	
		新たに水辺に触れ合うことが出来る海岸線延長【1,200m】	○	
		地域住民との協働による護岸整備【海田湾(アピールエリア)】	○	
		眺望点の整備、修復箇所数【2箇所】	○	
		環境教育・普及啓発活動【現状以上】	○	
		透明度	○	水辺の親水利用のために、快適な水環境が確保されているかどうかを透明度により監視
		代表的な親水施設の利用状況	○	広島湾流域の住民による親水施設の利用状況を、無作為抽出アンケート等により監視
		広島湾の保全・再生に関するシンポジウム、フォーラム等への参加人数	○	
		市民連携による清掃活動等の参加人数	○	
		森林ボランティア等の参加状況	○	森・川・海の連携による取り組み(森林保全)の状況を、参加人数等により監視
		海洋レジャー客数の延べ人数	○	海水浴、潮干狩り、釣り(船釣り、磯・浜釣り)等の利用客数を統計資料により監視
		広島湾の環境保全・再生に関する住民等の意識	○	広島湾の環境保全・再生に関する住民等の意識の変化を無作為抽出アンケート等により監視
	広島湾及びその流域の環境情報に関するホームページへのアクセス数	○		
宮島などの魅力ある自然景観、歴史・文化を活かし、美しい広島湾を保全する。		住民参加による、自然景観、歴史・文化的資源の保全に関する取り組みの実施【現状以上】	○	
		自然景観、歴史・文化的資源の保全状況	○	宮島等の代表的な自然景観、歴史・文化的資源について、定期的に写真撮影する等により、景観の変化を監視
		観光地(自然景観、歴史・文化的資源)への年間入込客数	○	観光地毎の入込客数(発地別、目的地別)等を統計資料により監視

注1)汚水処理人口普及率は、下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽の普及率を合計したもので評価する。

【見直し案(広島湾再生行動計画 27ページ)】

表-3.1 目標達成状況を評価するための指標

■ …見直し箇所

目 標	指 標【目 安】	行 動 指 標	状 態 指 標	備 考
森・川・海の健やかな繋がりを活かし、豊かな広島湾を保全・再生する	(1)水環境の再生	汚水処理人口普及率【約7%向上】	○	注1)
		合流式下水道の改善【8地区改善】	○	
		下水道高度処理人口普及率【約13%向上】	○	
		底質の改善【海田湾(アピールエリア)】	○	パイロット事業の実施
		森林の保全・整備状況【約14,000ha保全・整備】	○	
		赤潮の発生状況	○	赤潮発生件数、面積、被害状況などを監視
		底層DO	○	貧酸素水塊の発生状況を監視
		透明度	○	水辺の親水利用のために、快適な水環境が確保されているかどうかを透明度により監視
		形態別の栄養塩類	○	広島湾内の物質循環を把握するために必要な無機態、有機態の栄養塩類の状況を監視
		かき収穫量	○	広島湾の水質に関わりがあると考えられるかき養殖の状況を監視
人と海との繋がりを取り戻し、親しみやすい広島湾を再生する。	(2)生物生息・生産の場の保全・再生	干潟・藻場等の浅場の保全・再生面積【約90ha 保全・再生】	○	
		生物の生息に配慮した環境配慮型構造物の延長【1,200m】	○	
		浅場等に生息する生物の種類数、個体数	○	
		野鳥園・緑地の整備箇所数【3箇所】	○	
		海洋性レクリエーション拠点の整備【1箇所】	○	
		新たに水辺に触れ合うことが出来る海岸線延長【1,200m】	○	
		地域住民との協働による護岸整備【海田湾(アピールエリア)】	○	
		眺望点の整備、修復箇所数【2箇所】	○	
		環境教育・普及啓発活動【現状以上】	○	
		代表的な親水施設の利用状況	○	広島湾流域の住民による親水施設の利用状況を、無作為抽出アンケート等により監視
		広島湾の保全・再生に関するシンポジウム、フォーラム等への参加人数	○	
		森林ボランティア等の参加状況	○	森・川・海の連携による取り組み(森林保全)の状況を、参加人数等により監視
		海洋レジャー客数の延べ人数	○	海水浴、潮干狩り、釣り(船釣り、磯・浜釣り)等の利用客数を統計資料により監視
	広島湾の環境保全・再生に関する住民等の意識	○	広島湾の環境保全・再生に関する住民等の意識の変化を無作為抽出アンケート等により監視	
	広島湾及びその流域の環境情報に関するホームページへのアクセス数	○		
宮島などの魅力ある自然景観、歴史・文化を活かし、美しい広島湾を保全する。		住民参加による、自然景観、歴史・文化的資源の保全に関する取り組みの実施【現状以上】	○	
		市民連携による清掃活動等の参加人数【現状以上】	○	
		自然景観、歴史・文化的資源の保全状況	○	宮島等の代表的な自然景観、歴史・文化的資源について、定期的に写真撮影する等により、景観の変化を監視
	観光地(自然景観、歴史・文化的資源)への年間入込客数	○	観光地毎の入込客数(発地別、目的地別)等を統計資料により監視	

注1)汚水処理人口普及率は、下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽の普及率を合計したもので評価する。